

ヒグマについてのお知らせ

令和6年4月 広報おりこみ

ヒグマが起きだしてくる季節になりました。この冬は比較的に暖かく、雪も少なかったようで、冬眠明けが早いのではとの懸念も聞かれましたが、3月末時点で得られている活動情報は例年と比べて多くはなく、冬眠明けの早まりを示唆する情報はありません。いずれにしても4月には多くのヒグマが活動を始めるものと予想されます。林内はササが起きて見通しが悪くなり、沢も開いて水音が賑やかになります。人とヒグマが互いを察知しづらくなりますので、林内に入るときは、音を発するとともに、周囲によく気を配りましょう。

村は危険性の有無によらず幅広くヒグマ情報を集めています。皆様のご協力をお願いいたします。



注) 情報の有無に係わらず、村内は、どこでもヒグマがいる可能性があります

3/28 大型足跡
15±0.5cm



3/17
中大型足跡



酪農大標識個体
(R5.11.3 成オス)
冬眠位置
3/10に動き出し、
概ね南下。3/21
現在、平取町仁世
宇の山中に所在

酪農大標識個体
(R5.10.7 成メス)
冬眠位置
3/21 現在、動きなし

次のような状況はすぐに対策が必要です。

- 住宅や事業所等、人の生活する場所に現れた。
- 道路上や道路脇、農地に居座っている。
- 人に気付いても逃げない。
- 人に近づく素振りを見せる。あとを付けてきた。
- 持ち物を奪われた。
- 農作物や生ゴミなど、人工物を食べている。
- 人や家畜、ペットが襲われた。
- ヒグマが車と衝突、けがをして道路周辺にいる。

すぐにお知らせください。

状況に応じ、注意喚起や立入制限、追い払いや捕獲等の対処をします。

占冠村役場 農林課
林業振興室 野生鳥獣担当
☎0167-56-2174
占冠 駐在所
☎0167-56-2110

次のような状況では、静観できると考えられます。

- 山間部で道路の横断を目撃した。痕跡があった。
- 山林内でヒグマの痕跡を見た。
- 山林内でヒグマを目撃した。ヒグマは立ち去った。

役場林業振興室に情報をお寄せください。生息状況の基礎データとして集積し、対策に活かしてまいります。

クマ撃退スプレー 正しい取り扱いで有効に



人身事故防止は「出会わないこと」が第一ですが、出会ってしまった時の対処も大切です。とりわけ攻撃的な急接近や、攻撃が起きたときは、カブサイシン入りのクマ撃退スプレーがご自身を守るかもしれません。

製品仕様や品質等については製造者様、販売者様の説明書をご確認ください。一般的な用法などについては村の担当でもご相談に対応いたします。

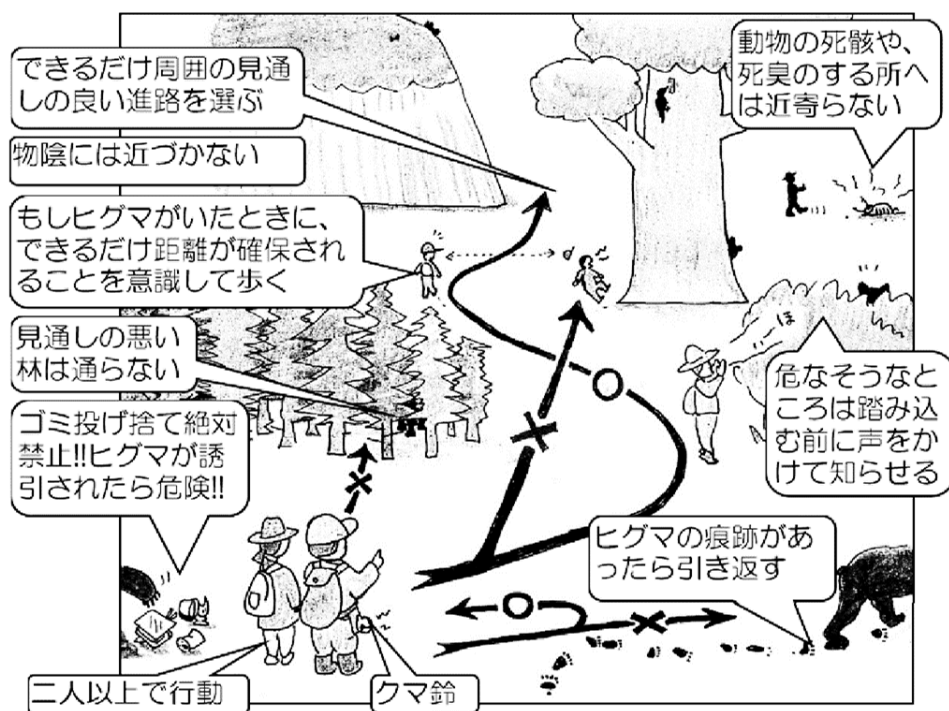
よろしくお願い致します。占冠村役場 農林課 林業振興室 電話0167-56-2174

春の野山はヒグマに注意!!

令和6年4月

『ヒグマの生息地に入らない』は事故防止の即効薬ですが、長い目で見れば、私たちが森林に分け入り、ヒグマと出会い、積極的な関与の中で技術や関係性を維持していかなければ、いまある安全も失われてしまいます。皆さんの『適切な森林利用』が、ヒグマに対する人の安全を支えていきます。下図も参考に、事故防止の注意をお願いいたします。

山林内でヒグマと危険な遭遇をしないための工夫



ヒグマと出会ってしまったら

○ すべきこと	- 立ち止まる - 落ち着いて観察 - 同行者同士で集まる - 背を見せずに、歩いて離れる
× しないほうがよいこと	- 大声で悲鳴 - 物を投げつける - 同行者と散り散りになる - 背を向けて走って逃げる

出会ったときの最初の対応

①ヒグマが遠いとき ゆっくり静かに立ち去る	② ヒグマがこちらに気付いておらず、近づいて来るとき ゆっくり静かに後退する。おだやかに声をかけて気付かせる。 クマ撃退スプレーがあれば準備	③ヒグマが逃げ去ったとき ゆっくり静かに立ち去る	④ヒグマがにらんでいる。吠えている。近づいて来るとき ゆっくり静かに後退する。 クマ撃退スプレーがあれば準備。立木の背後に回り込み、突進経路を遮りながら
------------------------------	--	---------------------------------	--

次の対応・・・

①ヒグマと十分に離れたとき →通常の警戒レベルに。 →出会った場所には戻らない。	②ヒグマがしつこく付きまとうとき →引き続き、背を向けずに後退。同行者と離れず、協力して下山。 危急の際、持ち物を置くと時間稼ぎになることも。但し、いちどヒグマが触れた物は、ヒグマが去っても回収しないこと。 出来るだけ早く、村役場か警察へ連絡し、救援要請。
---	---

接近が止まらない!! 接触された!!

クマ撃退スプレーがあれば ヒグマの顔面に向けて噴射 	クマ撃退スプレーがないとき 噴射が終わっても効かなかったとき →ダメージを低減する防御姿勢 腹ばいになり、手を組んで首を保護。
素手や刃物、鈍器による積極的な反撃とどちらが有利か、見極めは難しい	